

2017 年度夏季海外研修（韓国語・韓国文化コース）研修レポート

総合政策学部 Sさん

私は 2017 年度岩手県立大学夏季海外研修「韓国語・韓国文化コース」に参加しました。その内容は、9月3日から9月23日まで韓国の寄宿舎に滞在し、その期間慶熙大学で韓国語や韓国文化を学ぶものです。

今年は国際情勢が良いとは言えず、参加者も少なく、正直いつ危険があってもおかしくないような状況でしたが、実際に行ってみるとそんなことはなく、無事に帰国できました。これから 3 週間を詳しく振り返ってみたいと思います。

【生活について】

大学と最寄り駅を中心に位置する寄宿舎に滞在し、2人1部屋でトイレ・シャワーは共同、テレビは共有スペースに 1 台ありました。部屋は基本的に大学の人と一緒にいるかと思われませんが、人数が奇数の場合やその他事情によっては知らない人(日本人外国人問わず)と一緒にいるかもしれません。また、寄宿舎の目の前にコンビニがあり、外食しない日はここで食べ物を調達していました。少し歩けばパン屋やスーパーもあったので、食べ物には困りませんでした。寄宿舎によっては、駅や大学が近かったり、施設がきれいだったり Wi-Fi 環境が良かったりと違いが多々あります。自分に合う寄宿舎になることを願いましょう。

【授業について】

初日のクラス分けテストでクラスが決まります。韓国語が一切読めない・書けない人はテスト前に申請すれば、テストを受けず自動的にビギナーのクラスに配属されるので、韓国語の知識が無くてもどうにかなります。テスト内容は作文と面接でした。

私のクラスは日本人 9 人、中国人 1 人、フランス人 1 人で構成されていました。1 クラス大体 11~13 人程度の少人数制授業になります。授業は 9 時~13 時まで(1 コマ 50 分で、1 日 4 コマ)が、文化を学ぶ授業があれば 16 時まで、現地学習の日であれば 17 時や 18 時頃までかかります。

授業は韓国語で行われますが、先生はわかりやすい単語を使ってゆっくりと話してくださるので、先輩に聞いていたような「何を言っているのか全くわからない」というのはあまり感じませんでした。どうしてもわからないときは、英語を使って会話ができます。

【トウミ】

私たち留学生に慶熙大学の学生がお世話係としてついてくれるチューター制度があると聞いていましたが、簡単に言うと、韓国人と一緒に食事をしたり遊びに出かけたりします。違うクラスの子の話を聞いたところ、慶熙大学ではない他の大学の人や社会人がトウミに

なることもあるようです。

留学生 2 人に対してトウミが 1 人、または留学生 1 人に対してトウミが 1 人つくことが多いのですが、私のところはトウミが 2 人で私たち留学生が 4 人という賑やかなグループになりました。さらに、私たちのトウミの 1 人が日本語ペラペラ、もう 1 人は英語がペラペラだったので、日本語・英語・韓国語を使いながら楽しく過ごせました。

【現地学習】

研修期間中に 2 回行われました。大学から貸し切りバスに乗って全員で出かけるので、気分は校外学習や遠足に出かけるようなものです。1 回目は、陶芸村で陶芸をして、民族村で写真を撮り歩きました。2 回目は、博物館へ行ったり、N ソウルタワーへ行ったり、ナンタを觀賞しました。その日のお昼ご飯がポッサムで、とても美味しかったです。

【自由時間】

週末や 13 時で授業が終わる日は、大学の子やクラスの子、または一人で出かけていました。授業が遅く終わる日でも、大学から駅までの道にお店がたくさんあったので、服を見たり化粧品を見たり、ご飯やスイーツを友達と食べて帰るとというのが結構ありました。

私は韓国に来てから 2~3 日目まで寄宿舎で過ごしていたので、「このままでは勿体ない」と思い毎日出かけるようになりました。初めて電車に乗って出かける日は、何もわからなかったので付き添ってくれた友達に頼りきりでしたが、その次の日からは自信がついて一人で電車に乗って出かけられるようになりました。

【まとめ】

今回は国際情勢が良くなかったのですが、研修期間中大丈夫だろうかと不安を抱きながらも、開き直って「なんとかなる」精神と運で研修期間を過ごしました。実際、国際情勢の悪さを韓国に居て感じることはありませんでしたし、日本語・英語が結構通じるので生活する分はなんとかなります。

また、海外に滞在するという不安もありましたが、先輩方の海外研修レポートや海外研修参加者説明会でのスライド資料・質疑応答があったので、不安が少しやわらぎました。今回は四大からの参加者が私一人だけだったので、レポートなど後輩に残せる資料が少ないのが残念ですが、不安なことがあれば私よりも上の先輩のレポートを読んだり、積極的に質問するのが良いと思います。

最後になりますが、この研修を終えて韓国語を勉強したい気持ちが強まりました。しかしそれと同時に、いつどこでも使える英語を勉強する必要もあるなと思いました。語学に対してさらに興味がわいたので、今後も語学勉強を続けていきたいと思っています。